

中西和久ひとり芝居

しんのだずまこ

第四十六回文化庁芸術祭受賞



中西和久

脚本・演出 ふじたあさや

美術	西山 三郎	方言指導	大原 理子
衣裳	中矢 恵子	講談指導	神田 山陽
振付	香妻 徳彌	説経節指導	武蔵 大排
照明	坂本 義美	衣裳染織	甲木 恵都子
音楽	高橋 明邦	題字	赤松 陽構造
音響	鈴木 茂	制作	朝田 賢次
演出助手	栗谷川 洋		月島 文乃
舞台監督	猪股 孝之		

恋しくば たづね来て見よ 和泉なる

信太の森の うらみ 葛の葉

奉納 昭和三十三年五月廿五日富田

“Shinodazuma-koh”

(財) 茨木市文化振興財団第51回公演

2004年 11月13日【土】18:30開演 (18:00開場)

茨木市市民総合センター・クリエイトセンター・センターホール (402席)

全席指定 1階席3,000円/2階席2,500円/割引=65歳以上、18歳以下、障害者及びその介助者は500円引き

* 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

■チケット販売所【8月4日(水)発売】

(財) 茨木市文化振興財団072-625-3055/JA茨木市各店舗072-627-7762 (本所総務課)/ファミロード阪急茨木市駅前店072-626-3723/

朝日野村北撰販売(株) 072-643-8424/ローソンチケット・Lコード予約0570-06-3005 (Lコード54984)/チケットぴあ 0570-02-9999

Pコード予約 0570-02-9966 (Pコード355-340)

■お申し込み・お問い合わせ

072-625-3055 (財) 茨木市文化振興財団/月~金、8:45~17:15、土・日・祝日休業(クリエイトセンター1階)





ふじた あさや
FUJITA, Asaya

『話す「語」る「説」む「説」く「評」う
「説」る「講」ずる「談」ずる「詠」む
「詠」う「論」ずる。言偏が豊かに
詰まったお芝居』
永六輔(放送タレント)

『盆踊り、三味線による説経
浄瑠璃、講談、和太鼓、替女唄、
歌舞伎の所作、踊り…。
まるで芸能トライアスロン。』
伊藤比呂美(詩人)

『中西君は中世の呪術師の
生まれ代わりではないのか。
とても現代俳優とは思えない
ようなところがスバラシイ。
呪術師は芸能人の祖先ですが、
中西君は芸能人の根源の魂を
持っています。
すこぶる期待しているのです。』
小沢昭一(俳優)

『伝統芸能式に言えば芸尽くして
観客を楽しませる芝居であり、
現代演劇風に言えば、絶えず
その場の演技を異化しながら、
理性と感性の両方に
訴えかけてゆく芝居だ』
宮下展夫(演劇評論家 劇評より)



*電話予約もお受けしますが、お席の希望はお聞きできません。予約後は、1週間以内に財団事務局でご精算ください。
*予約チケットの郵送をご希望の場合は、<チケット料金+郵送料430円>を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお振替ください。
*手数料はご負担ください。(振替口座) 00970-7-190576/加入者名:財団法人茨木市文化振興財団
*当財団での窓口販売と電話予約が競合した場合は窓口販売を優先いたしますので予めご了承ください。

■主催:財団法人茨木市文化振興財団 <http://www.9.ocn.ne.jp/~ibabun/>
〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号クリエイトセンター1階

■クリエイトセンター(茨木市市民総合センター) JR「茨木駅」から東へ徒歩10分、阪急「茨木市駅」から西へ徒歩10分

中西和久ひとり芝居

『流れる水のようになめらかで、
バイタリティーあふれる
話術に加えて、歌い踊り、太鼓と
三味線を思いのままにこなす
タレントぶりはまさに超人的。』
車凡錫(劇作家・韓国芸術院会員)



中西和久
NAKANISHI, Kazuhisa

『中西の後ろに東洋の伝統を
感じると同時に彼の演技に
西洋演劇の素養も感じた。』
パトリック・マセツト
(演出家、ベルギー)

『シビユ国際演劇祭の頂点を
極めた作品。』
ルドミラ・パトランジョグル
(ルーマニア演劇批評家協会会長)

一九九一年度(第四十六回)文化庁芸術祭賞受賞

脚本演出／ふじたあさや 出演／中西和久

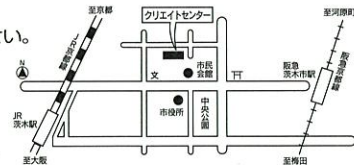
しのだづま考

なぜ昔の葉は最愛のわが子と別れ
夫保名と別れて信太の森へ
帰っていったのか…
歌舞伎「昔の葉子別れ」で知られる(信田妻伝説)の
さまさまを渡り歩きながら、子別れに、そして
安倍清明の出世譚に秘められた「夢」に迫るひとり芝居!

『京楽座は旧リ連・モルドバ共和国の
国立劇場での上演という栄誉を担った。
(中略)終わってみれば、観客総立ちの
スタンディングオベーション。
私を同行の日本人と見て、
「すばらしいアクターだ」と握手を
求めてくる観客にしばしば出会った。』
七字英輔(演劇評論家)
(読売新聞'97年6月24日「京楽座ひとり芝居
『しのだづま考』東歌公演」より抜粋)



京楽座



創造力が原動力

SEAWA
政和印刷株式会社

〒567-0072 大阪府茨木市郡4丁目1番4号
TEL.072-643-5457(代) FAX.072-643-9860
<http://www.pseiwa.co.jp>

本物志向の店
地酒とワインと良い食品

株式会社にしじま

本店:茨木市新和町4-11
☎ 072-633-3500 FAX 072-634-5002